

魅力ある シンボルロードを 目指して

「杜の都」仙台を代表するシンボルロードである、青葉通、定禅寺通、宮城野通は、通りの整備、街並みルール、様々なイベントなどにより、市民、事業者、行政が一体となり優れた景観をつくってきました。現在、通りの様々な活用、青葉通の再整備などの動きにより新たな魅力もつくられ始めており、仙台のシンボルロードを中心に、通りのさらなる魅力や賑わいに向けた取組みや今後の展望などについて、考えていきます。



日時 平成29年2月1日(水)
13:30~16:30(開場 13:00)

会場 せんだいメディアテーク
1階 オープンスクエア

参加費 無料 先着150名 ※事前にお申込みください。

その他 託児あり【1才から未就学児まで】
ご利用の方は人数に限りがございますので、1月25日までに申込みをお願いいたします

◆ お問合せ ◆

仙台市 都市整備局 計画部 都市景観課
TEL:022-214-8288 FAX:022-214-8300
E-Mail: tos009120@city.sendai.jp
HP: <http://www.city.sendai.jp/kekan/jigyosha/taisaku/kenchiku/toshikekan.html>

主催 仙台市 写真提供: 仙台市

第1部 基調講演
景観から考える通りの魅力
堀 繁氏 ◎ 東京大学アジア生物資源環境研究センター長・教授

第2部 パネルディスカッション
魅力ある通り、魅力ある青葉通をつくっていくには
堀 繁氏 ◎ 東京大学アジア生物資源環境研究センター長・教授
庄子 直氏 ◎ 青葉通まちづくり協議会事務局 (株) 藤崎
不破 正仁氏 ◎ 東北工業大学工学部建築学科・講師
佐々木啓子氏 ◎ 西公園プレーパークの会・プレーリーダー
岩間 友希氏 ◎ (株) 伊達の家守舎・代表 (株) 都市設計・ディレクター



参加申込書 参加ご希望の方は、FAX、E-mail 又は都市景観課HPよりお申し込み下さい。(先着150名)
FAX 022-214-8300 E-mail tos009120@city.sendai.jp

参加者のお名前	(フリガナ) _____	会社名又は学校名等	_____
住所	_____		
電話・FAX	_____		
E-mail	_____		
託児希望	名 _____		

※参加申込書に記入いただいた情報につきましては、シンポジウム開催以外の目的では一切使用せず、厳重に管理いたします。



堀 繁 ◆ほり しげる

東京大学アジア生物資源環境研究センター長・教授

1952年東京浅草生まれ。東京大学農学部卒業後、環境庁自然保護局主査、東京大学農学部助手、東京工業大学工学部助教授などを経て、1996年3月より現職教授、2013年4月よりセンター長を務める。

専門は、景観工学、景観デザイン、地域計画、観光地計画、活性化のまちづくり、街路デザイン、アースワークデザインなど。地域の発展のための、景観、観光、既存資源を活用した地域活性化や賑わいのまちづくりの計画設計に取り組んでいる。

庄子 直 ◆しょうじ ただし

青葉通まちづくり協議会事務局

(株)藤崎・執行役員総務部担当部長兼CSR室担当部長

1960年仙台市生まれ。同志社大学文学部美学芸術学専攻卒業後、(株)藤崎入社。主に店舗計画部門で、新規店舗の開発や売場のリモデルを行う。また、3・11東日本大震災時には、本店や津波で被災した気仙沼店等の復旧に取り組み、その教訓をBCP(事業継続計画)としてまとめた。近年では、昨年12月に開通した地下鉄東西線青葉通一番町駅の北側出入口にあたるビルの開発に携わる。2012年の青葉通まちづくり協議会設立時より事務局を務める。



不破 正仁 ◆ふわ まさひと

東北工業大学工学部建築学科・講師

1976年東京生まれ。2010年筑波大学院システム情報工学研究科修了、博士(工学)。筑波大学院博士特別研究員、神戸芸術工科大学助手を経て、現在、東北工業大学工学部建築学科で講師を務める。「今あるもの・まちのタカラ」を再発見するだけでなく、そのタカラを地域計画・景観計画、まちづくり、および空間デザインに活かす研究に取り組んでいる。主な著書に農村景観を題材にした『関東地方の屋敷林』、旧市街の通りの景観を題材にした『三木の町並み』がある。また、「まちあるきパスポート」(『三木國旅券』ほか)などのガイドブック・まちあるきマップの企画・編集も行っている。

佐々木 啓子 ◆ささき けいこ

西公園プレーパークの会・プレーリーダー

1976年仙台市生まれ。保育士という教育現場から子どもと共に生きる「遊び 場づくり」に居心地の良さを感じて手伝い始める。2005年から6年間、西公園プレーパークのプレーリーダーを務める。現在は6歳・4歳・1歳の子どもたちとプレーパークで共に育つ日々を過ごす。乳幼児の親と立ち上げた「お外育児の会あおぞら」でも活動中。仙台市社会教育委員。



岩間 友希 ◆いわま ゆき

(株)伊達の家守舎・代表 (株)都市設計・ディレクター

1983年東京生まれ。WEBコンサルティングサービス(株)キノトープ・総合人材サービスの(株)インテリジェンスにて20代を過ごし、30代を節目に仙台に移住。公共設計を得意とする(株)都市設計にて企業や地域に対するブランディングディレクションを行いながら、仙台ならではの働き方“パラレルキャリア”を目指し、まちづくりにリノベーションの手法を取入れた『伊達の家守舎』の活動をスタート。定禅寺通りでの3rd LIVING at JOZENJI PARK、EBeanS屋上でのまちなかドローンスクールなど。